

＊＊山形市：いちがみさま（市神神社）と

尾花沢市：芭蕉・清風歴史資料館の MEMO＊＊

●いちがみさま について

①添付資料1の原文にある山形の『市の神』は、現在の山形市旅籠町に鎮座している市神神社のことと思われる。地元では、『いちがみさま』と崇められ、同市の名物である初市は、近郷近在から多数の人が集まり縁起物を買って帰る習わしのようです。



(写真：市神神社)

②この初市の中心をなすのが『市の神』であり、その御神体は、安山岩の自然石で、羽州山形七福神の一つ恵比寿神としても知られており、写真には、市神えびす神社の旗がたっております。

③昔、この石は、山形城下の町割りをするときの、かなめ石であったため、これを神聖して市神と崇んだそうです。

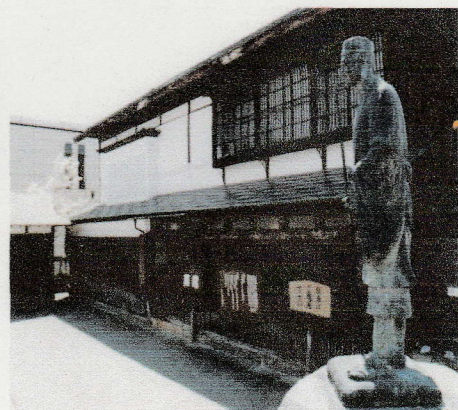
現在この神社は市内の里の宮湯殿山神社境内に移転されています。(湯殿山神社の分社)

●芭蕉・清風歴史資料館について

①同館は、尾花沢市内にあり、鈴木清風を始め尾花沢に伝わる歴史資料を収集・保存しておりこの建物は尾花沢地方における江戸時代町家の姿を伝える遺構とのことです。

②元禄2年(1689)5月17日、芭蕉は門人曾良を伴い、平泉、鳴子から山刀伐峠(なたぎりとうげ)の険しい路を超えて、尾花沢の清風を訪ねこの地に10泊したといわれています。

おくのほそ道の添付原文にあるように、清風は、『彼は富めるものなれど卑しからず』と記され、出羽豪商にして風雅に心寄せた人物で、芭蕉と江戸で親交があり、出羽俳壇の中心人物であったとのことです。



(写真は 芭蕉清風歴史資料館)

③ところで、添付原文の後半、『庭に檜の化石あり』について、其の後どうなったのかいつか尾花沢のこの資料館を訪ねたとき聞いてみようかと思っております。

(文責:今井)